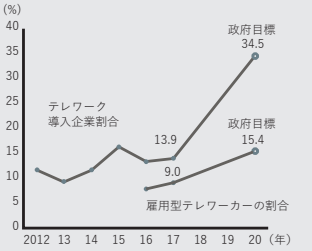
フォリーのある暮らし

–ウィズコロナ時代における高島平緑地の再編–

Prologue

テレワーカーの増加



総務省「通信利用動向調査」国土交通省「テレワーク人口実態調査」

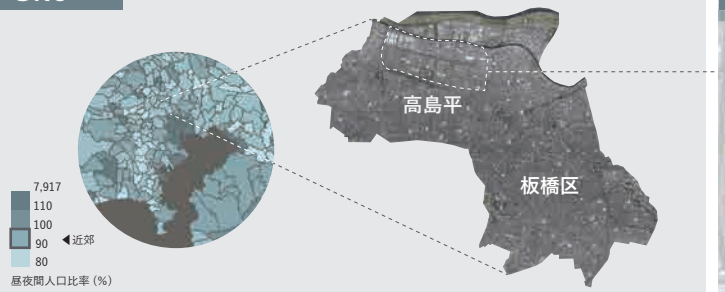
在宅ワークの課題

- 共働きで同時に仕事をしにくい
- 体を動かす機会が減る
- 人との会話が減る
- 生活と仕事の場を分けたい
- 住宅の通信環境が悪い
- PC の操作に慣れていない

2020年春、COVIT-19の流行によって人々は会社や大学に集まることを規制され、自宅のパソコンから社会と繋がる生活を余儀なくされた。今後もテレワークの増加が予想される。

住宅を職場として快適化する人が増えたが、職住分離を前提に計画された住宅では家族がせめぎ合う、自律性を保ちにくい、移動が減り運動不足になる、人との会話が減るなど現状では課題が多い。そこで単なる移動空間になっているまちの空間的な資源を市民が自分の場所のように振る舞うことができるサードプレイスとして還元することができれば、それがテレワーカーにとっての新たなオフィス空間になり得ると考えた。

Site

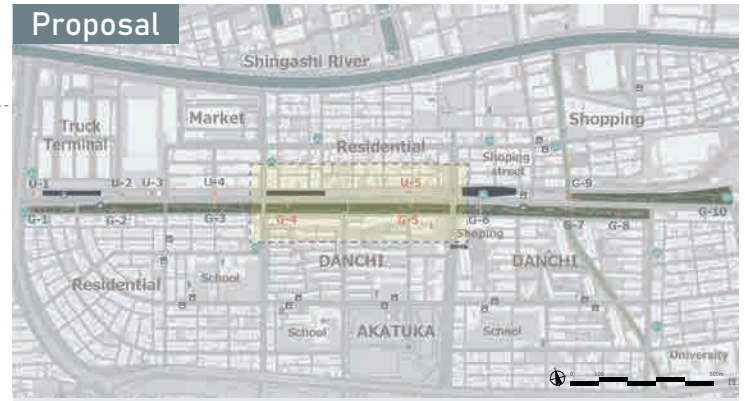


計画地域はテレワークに最適な仕事環境が行き届いていない、狭い住戸が密集したベッドタウンを対象とした。昼夜間人口比率90%以上100%未満を「近郊」と仮定し、その中から都営三田線終点付近である東京都板橋区高島平を選定した。

高島平は50年前まで水田が広がっていたが、高度経済成長期の住戸不足問題を早急に解決するために高層団地群を中心に発展した街である。現在団地ブームは去り若者の転出と住民の高齢化に加え、かつての飛び降り自殺の名所という負の印象を問題として抱えている地域である。

敷地は町を南北に分断している約2.5kmに及ぶ緑地帯と高架下空間。この敷地は高層団地計画の犠牲者的な都市の空隙だが、駅に行くたびに必ず通る身近な存在かつ、南北のインターフェイスでもあるため、市民に還元する価値を秘めている。

Proposal



直線的な都市計画によって分断された町をひとつなぎにし、長く伸びた緑地を中心に新たなコミュニティを形成する提案をする。長い緑地帯に沿って、隔たれた区画を横断する散歩道を整備し、その合間にテレワークや散歩の休憩、団地の集会など市民が自由に使える用途の曖昧なフォリーを点在させることで、町の遊歩するきっかけをつくる。フォリーとは本来、庭園に建てられる意味のない小屋のような建築を意味するが、用途が曖昧なことから市民が自分たちで用途を見出し、自由に使える公共建築として提案している。高架下に5棟、緑地に10棟をそれぞれの敷地が持つ環境や特色に合わせてプログラムしたが、本研究は足掛かりとして上図の破線部分を設計した。

Master Plan

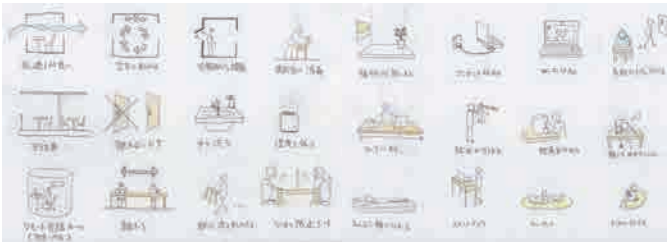
Diagram

フォリーの条件

ウィズコロナ時代のワーキングスペースに必要な要素、欲しい要素を抽出し、それらを取り入れるための空間の条件として以下の 3 点を設定した。

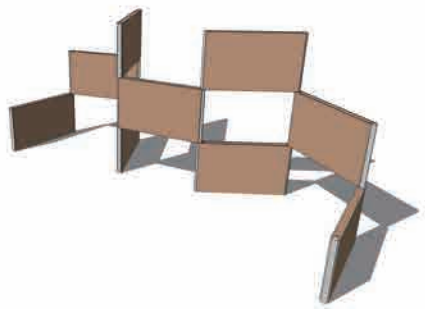
- 個室が離散的に配置され表面積が大きい
- テラスやサンルームなどの半外部空間がある
- 座る、立つ、寝るなど様々な体勢で作業する場がある

ワーキングスペースに必要な要素、欲しい要素



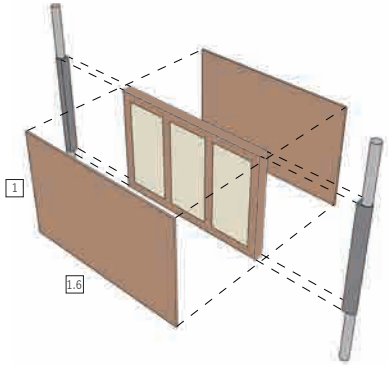
壁のユニット

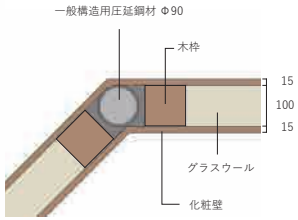
フォリーの条件をもとに敷地の樹木を避けつつ、離れた敷地に一貫性をもってデザインできるシステムとして市松模様状に角度を自由に振りながら展開可能な壁のユニットを設計した。市松模様状に空いた開口部から環境を取り込み、緩やかに囲まれた空間をつくることができる。

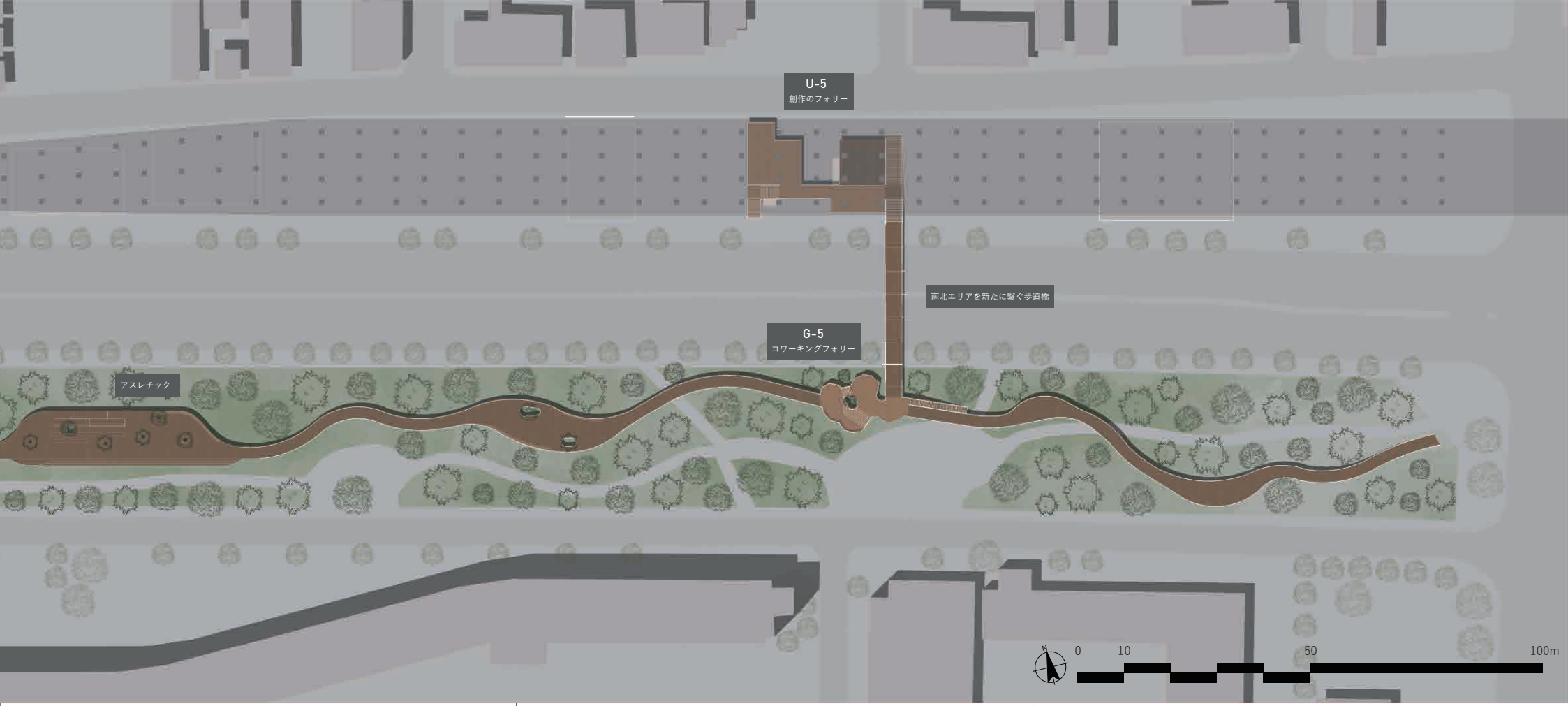


壁の構成

構造となる柱を棒鋼材にし、自由な角度で壁を接合可能にする。
壁には断熱材を入れ、柱周りの隙間を塞ぐため化粧壁で蓋をする。
化粧壁のプロポーションは黄金比 1：1.6 で構成する。

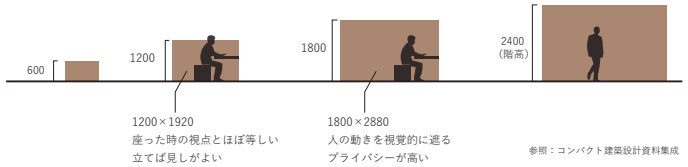




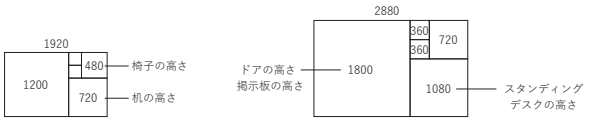


壁のタイプ

壁は作業スペースの仕切りとしても機能し、プライバシー性の緩いｈ1200と人が隠れるｈ1800の壁を使う。さらにｈ1200を基準に1/2倍したｈ600と2倍したｈ2400の4種類の壁によって空間を構成する。

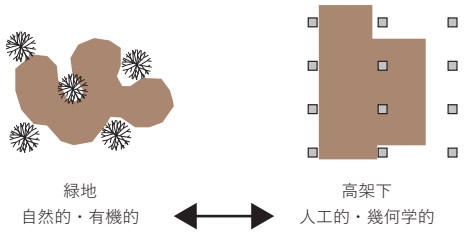


また、壁を黄金比で分割した寸法を家具の寸法と結び付けプロポーションを整える。



脱均質化

壁ユニットの統一によって空間が均質化されないために緑地では樹木を取り込む有機的な形状とし、高架下では敷地を有効に使う幾何学的な形状とした。



さらに、既存の歩道橋や壁泉といった周辺環境を掛け合わせの要素としてフォリーと融合させることで空間に多様性を持たせる。

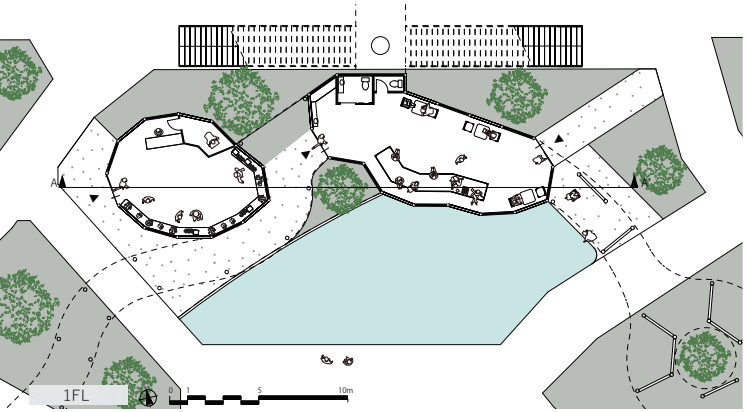
掛け合わせの要素：車道に架かる歩道橋、フォリーをつなぐ橋、水源、団地の影、樹種

ブリッジ

車道音や人通りがある地上レベルから樹木で覆い隠れるレベルに上がるブリッジをかける。木々を避ける有機的な形状で構成し、一部幅を変えることで緑を楽しめる居場所をつくる。ブリッジの下の空間にも壁のユニットを展開することで居場所をつくる。

壁泉のフォリー

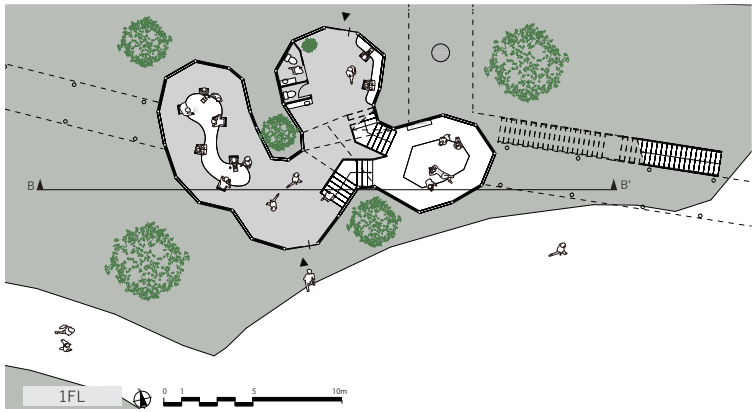
枯れた壁泉を改修しせせらぎの聞こえるフォリーと
団地商店街の寄せ集め売店

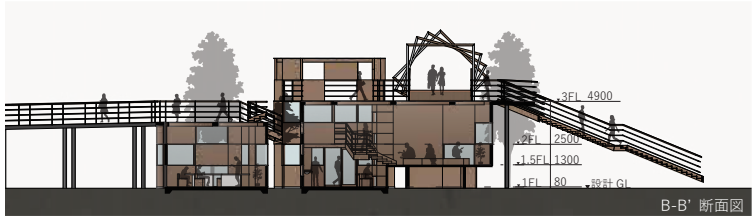


A-A' 断面図

コワーキングフォリー

小学校跡地にシニア活動センターが計画されることを見越した
若い世代とシニア世代のコワーキングスペース

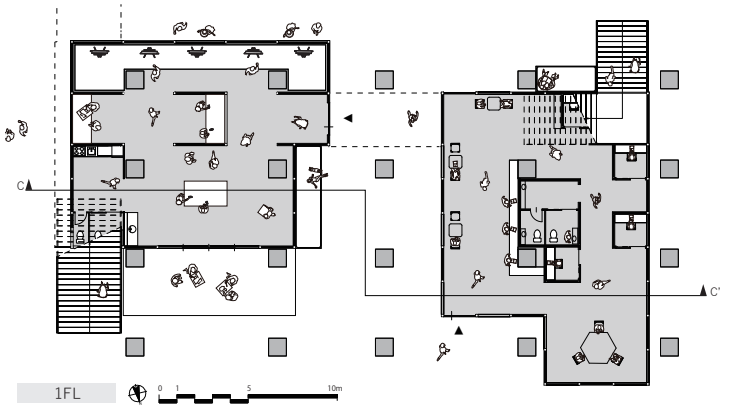




B-B' 断面図

創作のフォリー

ギャラリー付きのアトリエとワークステーション



C-C' 断面図